

平成28年度学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析等

分野	No.	質問項目	分析等
学習指導	1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者とも評価ABが80%を上回った(H27→H28, 生徒: 76.9%→82.2%, 保護者: 81.2%→80.3%)。生徒はC評価が減りB評価が増えている。10月の各教科ごとの生徒による授業評価アンケートでも全く同じ質問に対して、ほとんどの教科でAB評価が85%以上であった。授業そのものに対する満足度は高いと言える。 ・今後も、生徒の実態を把握し、授業の理解度の向上につながる授業改善に取り組んでいきたい。
生徒指導	2	挨拶やマナーなどの基本的習慣の確立に関する指導が行われている	<p>昨年に続き高い評価(生徒、保護者ともAB評価90%以上)を得ている。今後もしっかり取り組んでいく。</p>
進路指導	3	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・否定的回答が生徒18.0%(昨年度17.6%), 保護者18.5%(同19.3%)。昨年度は、3年生でいずれも22%台と多くなっていたが、今年度は3年生生徒は14%, 3年保護者は11%と、3年生に対する指導、情報提供等については改善されている。1・2年については、進路希望が未定または具体性に欠ける生徒に対して個別に声かけや面談を行いたい。 ・教員対象の、より詳細なアンケートから、年間の進路計画の設定や内容が不十分な面も窺われる。特に1・2年生の年間の指導の流れ、及びその提示方法、総合的な学習との関係等について見直し、改善にあたりたい。
教育相談	4	生徒にとって教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制は出来ている	<p>(生徒)AB: 79.0%, CD: 21.0%(H27AB:77.8%,CD:22.2%) (保護者)AB: 75.2%, CD: 24.3%(H27AB:74.6%,CD:25.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者共に昨年と同程度の評価を得ている。今年度も全体的にカウンセリング利用者が少なかった(後期は1日に0~1人という日が殆ど)。カウンセリングを無理に勧めることはできないが、カウンセラー来校日については継続的に周知徹底していくとともに、担任や部活動顧問担当者と連携を図り、カウンセリングが必要な生徒の情報共有を更に図っていきたい。 ・利用者数が少ない理由としては、各担任、部顧問、養護教諭が親身になって生徒や保護者と向き合い、カウンセリングを受ける前の段階で、生徒の心の安寧が図れているためと考える。
部活動	5	学校として部活動は活発に行われている	<p>昨年に続き高い評価(生徒、保護者ともAB評価95%以上)を得ている。運動部、文化部とも今後もしっかり取り組んでいく。</p>
生徒会活動	6	学校として生徒会活動は活発に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・AまたはBと答えた生徒は70.9%と昨年の73.1%をやや下回った。保護者の回答でも81.5%と昨年の83.5%をやや下回りどちらも低下した。 ・80%近い生徒が運動部に所属し活動しており、また、文化部の生徒も文化祭等や各種コンクールに向け活動しているが昨年を下回り、残念である。 ・生徒会執行部についても、様々な試みをし積極的に活動していると感じるが、各種専門委員会の活動をもっと活発にするよう工夫をしていきたい。
学校行事	7	自分にとって有意義な学校行事がある。	<p>・昨年に続き高い評価を得ている。今後もしっかり取り組んでいく。</p>

特色ある学校作り	8	学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・AB評価は生徒ほぼ昨年と同様、保護者微増であるが70%台中盤であり好評価と言える(H27→H28, 生徒:75.8%→75.2%, 保護者:71.1%→73.4%)。 ・保護者のA評価が増えた。自由記述欄などで部活動の活躍と地域でのボランティア等に関する言及が多い。これらを柴田高校の特色として捉えていると言える。普通科の部活動のさらなる活発化を望む意見も複数あった。 ・今後も充実した取り組みを目指していく。「学習との両立がなされていることが特色である」という意見が多くなるようにしたい。
防災	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	生徒、保護者ともH27よりAB回答が増加しており、避難訓練や緊急メールでの連絡の効果が感じられる。
開かれた学校	10	保護者に対して学校HPや各種通信などで、学校の情報は適切に伝えられている	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のAB評価が若干低めではあるが75%を越えており、概ね満足できる結果である。 ・保護者自由記述欄に学校HPについて「変わり榮えせず同じ内容。もっときれいな見やすくもなったら良い」「更新が遅い」との意見があった。各部顧問の先生方に声掛けをし、大会後は早めに更新するようにしていきたい。また、トップページのレイアウトも考えていきたい。
施設設備	11	学校の施設・設備は整備されている	おおむね高い評価を得ている。
いじめ対策	12	<p>【生徒】学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる</p> <p>【保護者】学校としていじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題の対策についての保護者回答は毎年低い評価であったが、今年度は60.5%(昨年度50.7%、一昨年43.7%)と増加した。3月の予備登校(毎年入学生のみ)や生徒指導部だよりでいじめアンケートの毎月実施を伝えていることが、評価上昇の要因であると考えられる。 ・いじめ問題に対する学校の取り組み方針を更に理解して頂けるよう、いじめ防止基本方針をホームページへ掲載しており、生徒ならびに保護者の皆様と更なる情報共有を目指していきたい。
総合満足度	13	学校生活は充実している	<ul style="list-style-type: none"> ・AB評価は生徒、保護者とも80%を越えた。(H27→H28, 生徒:76.4%→80.3%, 保護者:86.4%→89.6%) ・多くの者は学校生活に満足感を持っており、生徒・保護者ともA評価が増えた。全く当てはまらないという33名(7%)については昨年と同じであった。 ・昨年と今年は総合満足度と授業の満足度の上昇・下降が連動している。授業に臨む姿勢の指導を含め、授業を充実させることが総合満足度上昇にもつながると思われる。
保健厚生環境	14	【生徒のみ】日常の清掃活動をはじめとして環境の整備は適切に行われている	<p>(生徒)AB:85.1%, CD:14.9%(H27:AB:81.3%,CD:18.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より良好な回答が上回った。安全点検チェックを効率よく行っていることや、事務(庁務)部の多大な協力が得られて点が高い。しかし、記述覧には「校舎内が汚い」「トイレが汚れている」といった指摘が多くあった。美化委員会の活動を今後更に活発に行い、生徒同士も確認し合える校内の環境衛生管理、美化活動に努めていきたい。
	15	健康診断や保健講話・保健だよりにより生徒の健康管理は適切に行われている	<p>(生徒)AB:90.4%, CD:9.3%(H27:AB:87.7%,CD:12.3%)</p> <p>(保護者)AB:91.3%, CD:8.3%(H27:AB:89.9%,CD:9.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者ともに良好な回答を得られている。養護教諭による保健室内の丁寧な指導や、保健だよりの配布、先生方の協力によって健康診断や各学年の保健講話も円滑に実施できた。 ・評価Dとした保護者がいることは残念に思う。定期的に配布している保健だよりが、生徒から保護者の手に渡っていない可能性が高い。各担任の協力を得て周知徹底していきたい。

教務図書	16	授業・自学自習などの学習活動や読書活動及び情報収集の場として図書室は適切に運営されている	(生徒)AB;83.0%,CD;13.8% (保護者)AB;75.9%,CD;23.4% 保護者が若干低め。行事や展示、利用状況の情報発信に工夫が必要である。
進路指導	17	模擬試験や課外講習など進路目標達成に向けた実力養成の指導は適切に行われている	教員の否定的回答24%(H26)→31%(H27)→38% ・生徒15%保護者21%に対して教員の否定的回答率が高い。模試受験者数・講習受講者数ともに低調な状況が続いているのが大きな要因である。進学希望の生徒、特に高い目標(国公立大、在仙私立のうち、福祉大や学院大、その他私立でも薬、看護・医療、四大栄養、教員養成・四大保育など)を掲げている生徒に対し、模試受験・講習受講の意義・必要性を伝え、個別に受験・受講を促していきたい。また、模試前後の講習(解説)を引き続き実施し、受験・受講が主体的な学習の契機になるよう、学習内容や学習方法についてアドバイスしていく。 ・入試の結果を見ると、AO・推薦の受験に向けての小論文・コミュニケーション力などの養成同様、個別指導の効果は大きい。学力養成に向けても、個々の生徒の能力や到達度に合わせてきめ細かく指導や助言を行うことが必要かもしれない。
教務図書 視聴覚	18	芸術鑑賞会など情操を養うための行事が適切に行われている	(生徒)AB;84.3%,CD;12.5% (保護者)AB;82.4%,CD;13.2% ・生徒、保護者とも概ね高評価であり、内容を吟味し行事として今後も継続してゆく。
総務 (保護者のみの質問)	14	PTA会員相互の連携が図られており各種行事・研修がスムーズに運営されている	H27よりAB回答が少なくなっており、各種行事・研修の保護者へのさらなる参加を呼びかけたい。